

統合後の特色ある学校づくりとは。具体的な取組の内容は（中山台小学校）

学校教育部 学校教育課

統合後の中山台小学校においては、まずは学校の定着、安定的な運営が必要であると考えています。そのうえで、以下の特色ある取組を進めていきます。

1 令和4年度中山台小学校研究推進テーマ「仲間づくり」

中山桜台小学校と中山五月台小学校の両校全職員が参加した合同職員会議で、新しい中山台小学校の令和4年度研究推進テーマが「仲間づくり」に決定しました。

統合後の中山台小学校の全ての児童が出身校にかかわらず、同じ学校の仲間として、新しい環境に馴染めない子どもをつくらないために、という強い思いからこのテーマが決まりました。

研究推進校として、仲間づくりをテーマに、日々の授業実践を行うなか、月に1回学年の研究日に授業実践交流を行い、年に3回講師を招いて全校研究会を行います。

また、市費によるスクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーを配置し、子どもたちに寄り添った対応を進めていきます。

2 地域資源の活用

地域の教育資源は新しい中山台小学校に引き継ぐこととしています。

(1) 里山による環境教育

一つは、中山五月台小学校にある「里山」の活用です。これまで主に3年生の環境体験活動で里山活動を行ってきましたが、今後は中山台小学校の3年生をはじめ、他の学年でも生活科、理科などでも活用し、地域と協働の授業をする予定です。

(2) 読書の推進

もう一つは、魅力ある学校図書館と読書活動の推進です。中山桜台小学校では保護者や地域の人によって古紙回収等で得た収入により、新しい図書を数多く揃えています。子どもたちはより新しい図書に出会い、読書を楽しむことができます。統合後は、これらの図書と、中山五月台小学校にある新しい図書を合わせ、さらに読書活動を推進していく予定です。

3 小中一貫教育の研究と推進

統合後は中山五月台中学校区には小学校と中学校が1校ずつとなります。そのた

め、中山五月台中学校に進学してくる生徒は全て中山台小学校からということになります。

そこで、小学校と中学校が連携し、小中の9年間の学びをこれまで以上に一貫性のあるものにしていくことができると考えています。そのためには、教育目標や目指す子ども像などを小学校と中学校で共有したり、小学校高学年と中学校のカリキュラムに関連性を持たせるなど、小学校から中学校への接続を円滑にし、中1ギャップを解消します。また、その効果について研究した上で、義務教育学校の導入に向けて検討を進めていきます。